

整理番号	2024M-	052	補助事業者名	社会福祉法人石鳥谷会	事業項目名	施設特殊浴槽整備
------	--------	-----	--------	------------	-------	----------

## 別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	10	月	21	日	作成者	去石 誠
-----	------	---	----	---	----	---	-----	------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	予定どおり、特殊浴槽2台を更新した。見合わせもスムーズいき、計画より早く整備できたため、9月より利用者の状態にあった入浴が出来ている。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	見合わせ等が順調に進み、計画より早く整備することができた。また、計画どおり施設長が全体の責任者となり、介護主任、副主任を中心にサービス提供体制を調整し、介護員、看護師が連携して入浴介助に当たっている。			4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2024年10月	[達成状況] 100%	[具体的内容] 見合わせ等が順調に進んだことで、9月より利用開始した。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 181回	[達成状況] 65%	[具体的内容] ユニット型施設では10人が利用し、20日間で48回利用した。従来型施設では23人が利用し、20日間で133回利用した。20日間で65%達成なので、目標達成可能となる見込み。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 施設利用者、利用者家族240名にチラシ配布 2. 地域住民にチラシ配布、HPブログでの紹介とJKA専用ページに掲載、地元日日新聞に掲載	[達成状況] 1. 100% 2. 100%	[具体的内容] 1. JKA導入補助事業専用のチラシを作成し、施設利用者、利用者家族240名に配布した。 2. 地域住民にチラシ配布、HPブログに紹介記事掲載、HPのJKA専用ページに掲載、9月13日岩手日日新聞に導入記事が掲載された。	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1. 施設利用者、利用者家族240名にチラシ配布 2. 地域住民にチラシ配布、HPブログでの紹介とJKA専用ページに掲載、地元日日新聞に掲載	[達成状況] 1. 100% 2. 100%	[具体的内容] 1~2. 上記の情報発信時には、常に競輪補助金による事業であることを明示した。	4
(5) 自己評価の体制	予定どおり施設長、事務局長、介護係長で評価を行った。評価結果のHP掲載は12月に行う予定。			3	

#### (b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	計画どおり特殊浴槽を更新し、順調に利用者の状態にあった入浴ができるようになった。利用者の居室から浴室までの移動による負担が減り、職員の負担も軽減された。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	見合わせ等が順調に進んだことで、当初予定より早い9月に導入することができた。少数ではあるが、職員アンケートで、職員、利用者の負担が悪くなったと感じる回答があったので、改善できるようにしたい。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	計画にはなかったが、対面での入浴による安心感や、フルリクライニング入浴車椅子の導入は、予想以上に職員の負担軽減につながった。

整理番号	2024M-	052	補助事業者名	社会福祉法人石鳥谷会	事業項目名	施設特殊浴槽整備
------	--------	-----	--------	------------	-------	----------

## 別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(5/5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
	*		(16) 特になし		